

「カビ」に関する意識調査

梅雨時期のカビ事情を徹底調査

正しい知識を持っているカビ対策優等生はわずか3割！

カビに悩んでいる方は約8割いることが判明
梅雨時期の掃除の悩み1位「カビ汚れの掃除」

カビ専門家・矢口先生に聞く“梅雨時期のカビ対策のポイント”3つ公開

今年も梅雨の時期が近づいてきました。梅雨の間、湿度の高い状態が続くとカビが発生しやすくなり、そのまま放置しておくと住まいにも人にも影響が出る場合があります。また、梅雨の時期にはカビの掃除に悩みを抱える方も少なくないです。この度、健やかな暮らしを提案するリンナイ株式会社(本社:愛知県名古屋市の社長:内藤 弘康)ではカビの実態を探るべく、全国20~60代の男女計1,000名を対象に、「カビ」に関する意識調査を実施しました。

主な調査結果

- ✓1年で最もカビが気になる時期は梅雨！梅雨の掃除の悩み1位「カビ汚れの掃除」
- ✓カビに悩んでいる方は約8割いることが判明 カビに悩む場所1位は「浴室内」
- ✓カビ専門家 矢口先生監修「カビ対策知識テスト」
カビを正しく理解している“カビ対策優等生”は約3割という結果に
- ✓重曹がカビに効くと勘違いしている方が約6割もいることが判明
- ✓20代においては、男性(夫)が日常的に浴室掃除を担当している家庭が約5割
- ✓健康被害の可能性あり！エアコン掃除の頻度は半年に1回と答えた人が約2割ということが判明



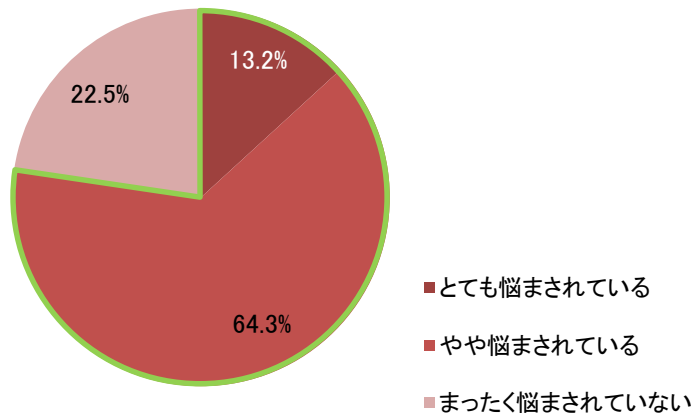
【本件に関するお問い合わせ先】

リンナイ株式会社 広報部:052-361-8211(代表)

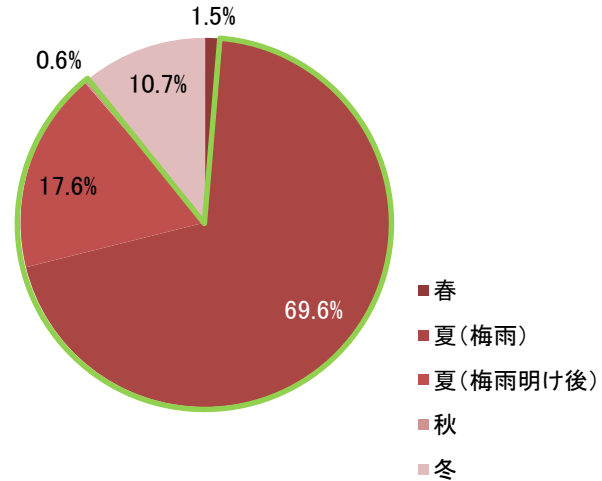
カビに悩んでいる人は約8割いることが判明 1年で最もカビが気になる時期は梅雨！ カビの悩み1位は「掃除をするのが大変」という結果に

カビに悩んでいる方がどれくらいいるのか調査したところ、約8割の方がカビに悩んでいるという結果になりました。また、最もカビが気になる季節は梅雨の時期であると答えた方が約7割となりました。カビ掃除の正しい知識を知ることによって梅雨の掃除の悩みも解決できるかもしれません。

Q1..あなたは、カビに悩まされていますか？（単一回答 N=1,000）

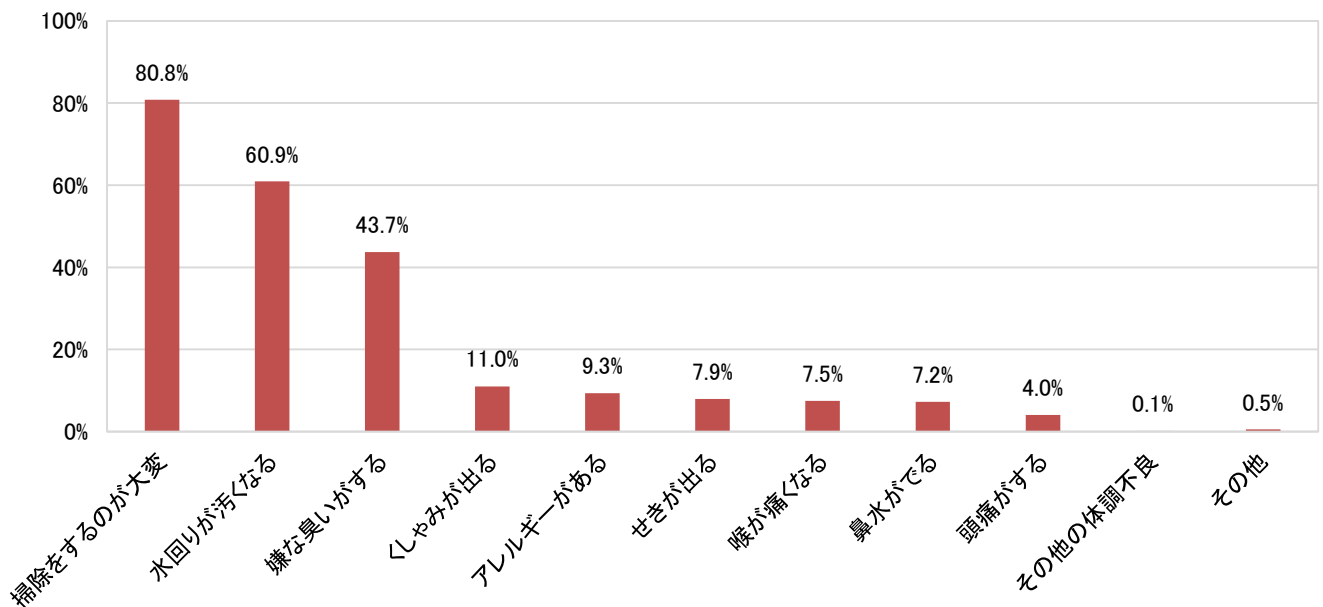


Q2. あなたが、最もカビが気になる季節はいつですか？（単一回答 N=1,000）



前問にて、カビに悩んでいると答えた方に、どのような悩みがあるのか聞いたところ、1位は「掃除をするのが大変」2位「水回りが汚くなる」という結果になりました。カビはきちんと掃除をしてもすぐに復活してしまったり、目が行き届かないところにも生えてしまうため、掃除をすることにストレスや悩みを抱えている方が多いようです。

Q3.カビについてどのような悩みがありますか？（複数回答 N=775）



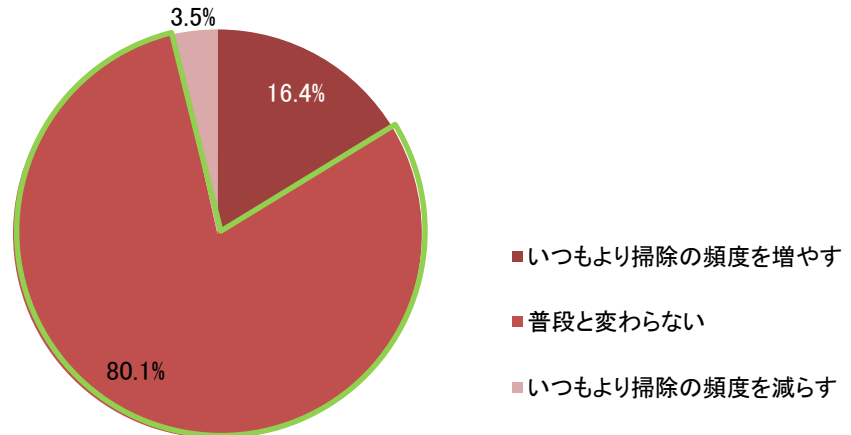
【矢口先生コメント】

カビは温度20～30℃、湿度60%以上で発生しやすくなり、75～90%で最も増殖しやすくなります。梅雨時期はちょうどこの条件と一致します。この他、年にもよりますが、秋の長雨の時期がこれに相当します。

1年で最もカビが気になる梅雨時の掃除の頻度はいつも通りの方が約8割 梅雨の掃除の悩み1位「カビ汚れの掃除」2位「ホコリの掃除」3位「水あかの掃除」

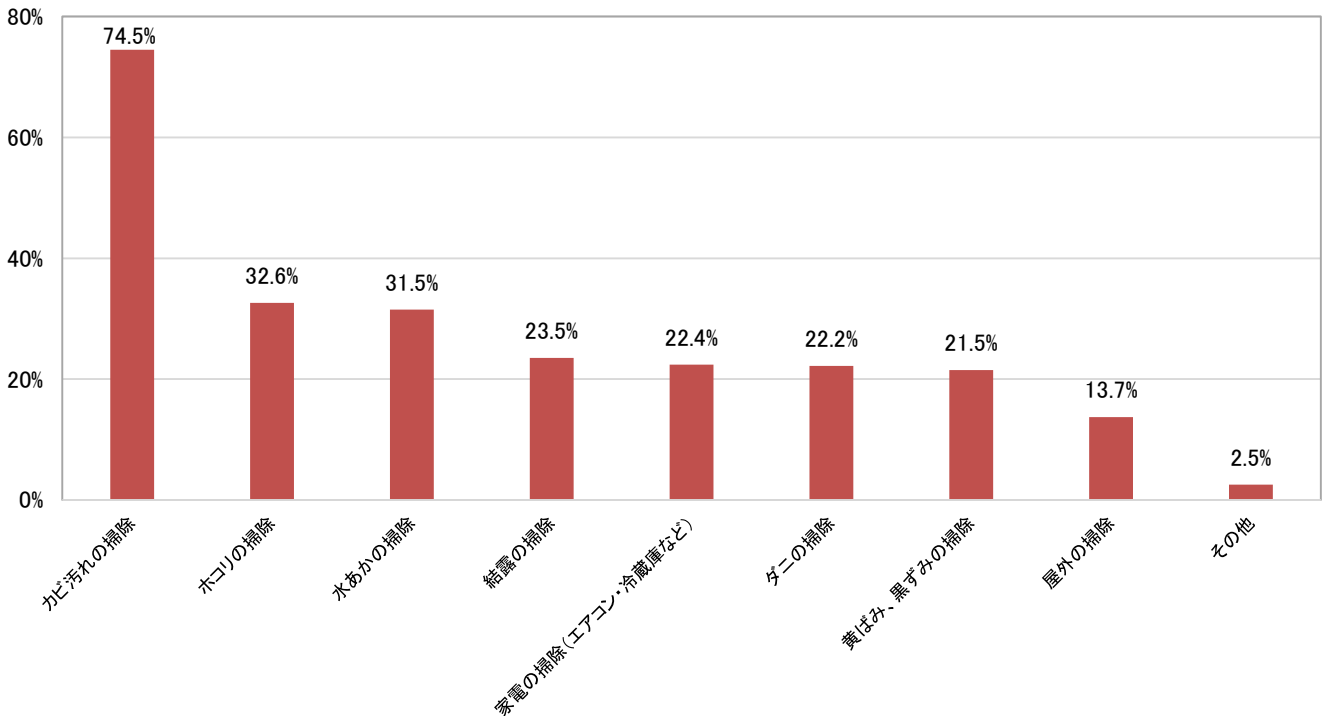
1年で最もカビが気になる梅雨時の掃除について調査しました。掃除の頻度については、カビが気になる時期であっても約8割の方が普段と変わらない頻度で掃除をしていることが判明しました。なお、いつもより掃除の頻度を増やすという方は約2割ほどいるという結果になりました。

Q4.あなたは、梅雨の時期にどれくらい掃除をしていますか？ 普段(梅雨以外の時期)と比べての変化をお答えください。(単一回答 N=1,000)



梅雨の時期の掃除の悩みについては、「カビの汚れの掃除」が約7割と最も高い結果となりました。掃除においてカビ汚れはかなりストレスになっていることがわかります。また、「ホコリの掃除」「水あかの掃除」についても約3割の方が悩んでいることがわかりました。

Q5.梅雨の時期の掃除で悩むのはどんなことですか？(複数回答 N=1,000)



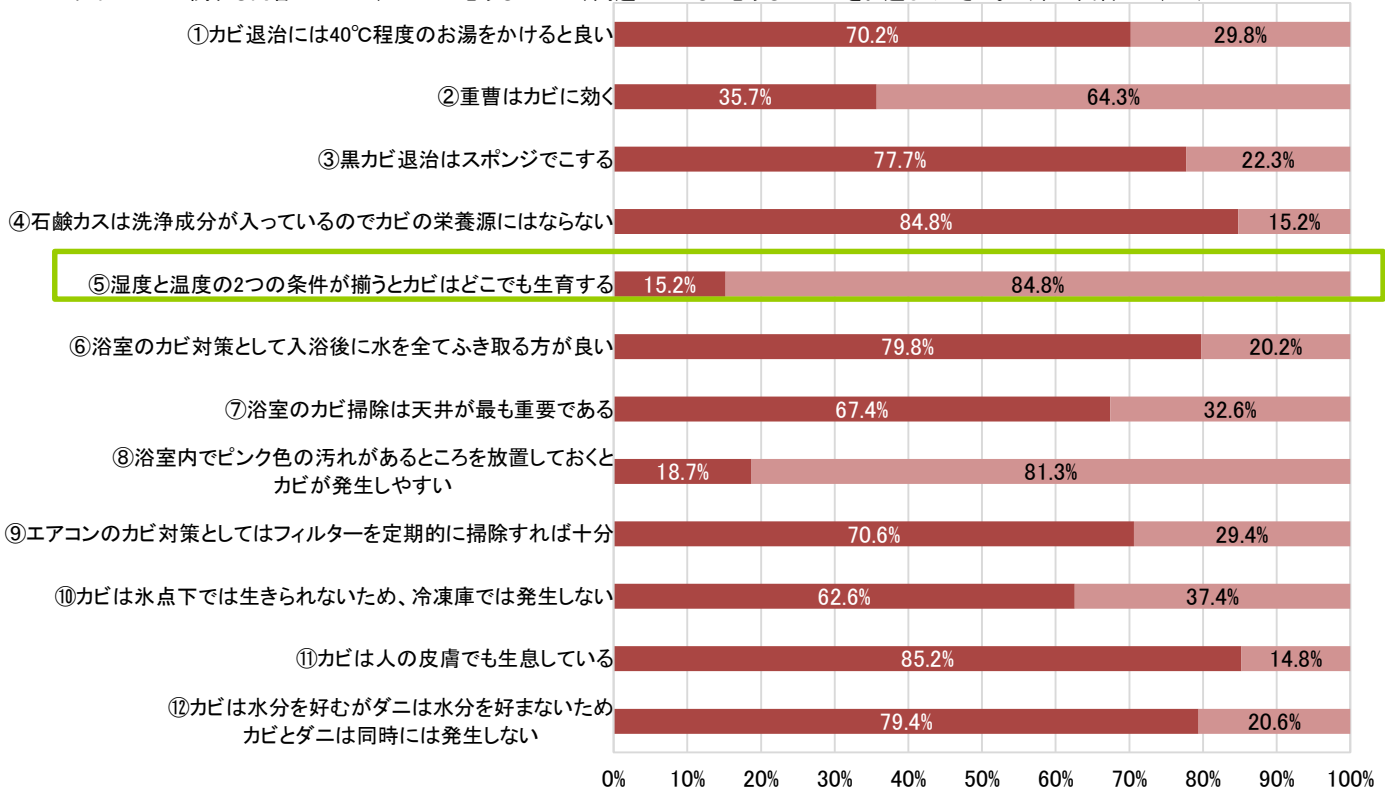
【矢口先生コメント】

梅雨時期には、カビは繁殖しやすいのでより一層掃除に力を入れ、カビが目についたらすぐにカビ取り剤を使用して、取り除いた方がいいです。しかし、梅雨前、比較的乾燥している5月にキッチン、浴室などの水回りをきちんと掃除しておく、梅雨時のカビが発生しにくくなります。また、エアコンのフィルターのホコリなどをこまめに掃除し、エアコンを梅雨時の除湿に活用しましょう。

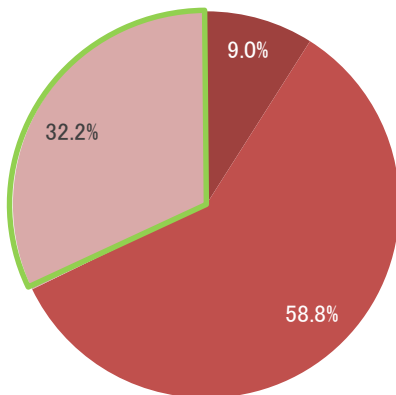
カビ専門家 矢口先生監修「カビ対策知識テスト」 カビを正しく理解している“カビ対策優等生”は約3割という結果に

カビに関して正しく理解できているかどうかを確認する簡易テストを、カビの専門家・矢口先生に作成いただきました。全12問の「カビ対策知識テスト」の平均正解数は7問となり、9問以上正解の“カビ対策優等生”は約3割にとどまりました。設問の中で最も正答率が低かったのは「⑤湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する。(正答は×)」となりました。詳しい解説は5ページをご確認ください。

Q6. 以下のカビに関する内容について、正しいと思うものは○、間違っていると思うものは×をお選びください。(単一回答 N=1,000)



【理解度判定】



9問以上正解の“カビ対策優等生”
約3割

- 0~4問 【間違ったカビ対策をしている可能性大】
- 5~8問 【合格点！カビ掃除をしっかり行っている証拠！】
- 9問以上 【カビ対策優等生！文句なしの結果です！】

【矢口先生コメント】

カビが生育するには、温度、湿度の他、栄養が必要です。カビは、ホコリ、汚れなどあらゆるもの(有機物)を栄養源にします。また、浴室など水回りのピンク色の汚れは、「ロドトルラ」というカビです。放置しておくともどんどん増殖してしまいます。気づいたらすぐ、カビ取り剤を使用して除去しましょう。掃除の仕方は、基本的に黒カビと同じで、カビ取り剤を使用して取り除きます。

ご家庭で習慣的にカビ掃除をしている方でも、間違った知識に基づいて掃除をしているせいでなかなかカビの悩みを解決できていない可能性もあります。この機会に、ご自身のカビ対策理解度をチェックし、カビ掃除の仕方を見直してはいかがでしょうか。梅雨の時期のカビの悩みも解決するかもしれません。

カビ対策知識テスト

カビ専門家 矢口貴志先生監修

	正解	不正解
1. カビ退治には40℃程度のお湯をかけると良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 重曹はカビに効く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 黒カビ退治はスポンジでこする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 石鹼カスは洗浄成分が入っているのでカビの栄養源にはならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 浴室のカビ対策として入浴後に水を全てふき取る方が良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 浴室のカビ掃除は天井が最も重要である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 浴室内でピンク色の汚れがあるとところを放置しておくともカビが発生しやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. エアコンのカビ対策としてはフィルターを定期的に掃除すれば十分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. カビは氷点下では生きられないため、冷凍庫では発生しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. カビは人の皮膚でも生息している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. カビは水分を好むがダニは水分を好まないためカビとダニは同時には発生しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

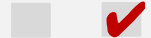
9問以上正解	カビ対策優等生！
5問～8問正解	合格点ですが、より正しいカビの知識を知ることによってカビ掃除の悩みを解決しよう！
0問～4問正解	間違った知識のもとカビ掃除をしている可能性大！ちょっとした工夫をすることで掃除もだいぶ楽になるかも！

カビ対策知識テスト＜解説＞

正解 不正解

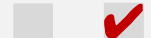
1. カビ退治には40℃程度のお湯をかけると良い

[解説]カビは50℃以上でダメージを受けて繁殖力が低下するため40℃程度のお湯だとカビ退治をすることは難しいです。カビを退治するためには50℃以上のお湯をかけた方が効果的です。



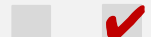
2. 重曹はカビに効く

[解説]重曹には「洗浄効果」はありますが、「殺菌、除菌」の効果はないため、カビを根元から取り除くことはできません。カビ掃除をする際には殺菌の効果があるクエン酸や、酢などがオススメです。



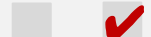
3. 黒カビ退治はスポンジでこする

[解説]黒カビは、スポンジでこすっただけでは、目地などの奥まで入り込んでカビを除去できません。黒カビ退治にはカビとり剤の上からペーパーでパックし数十分置いた後に洗い流すと良く取れます。



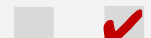
4. 石鹼カスは洗浄成分が入っているのでカビの栄養源にはならない

[解説]石鹼カスもカビの栄養源となるため、カビを増やさない為にはきちんと石鹼カスも取り除くことが重要です。



5. 湿度と温度の2つの条件が揃うとカビはどこでも生育する

[解説]「湿度(60%以上)」「気温(20～30℃が最適)」「栄養分(食ベカス・人のアカなど)」の3つの条件が揃うとカビが発生しやすくなります。言い換えると、それらが揃わなければカビは生えません。



6. 浴室のカビ対策として入浴後に水を全てふき取る方が良い

[解説]水を取り除いてあげることでカビが生えにくくなります。毎日水をふき取ることが難しいと思いますので、水切りの掃除用具などを活用する、また換気扇をなるべく長時間かけることをオススメします。



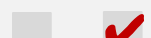
7. 浴室のカビ掃除は天井が最も重要である

[解説]天井を掃除しない限り天井から降ってきたカビの胞子が原因で、いくら床や浴槽をキレイにしてもカビがすぐに発生してしまう悪循環に陥ってしまうため、掃除をする際には必ず天井もかかさず掃除することが重要です。きちんと天井も掃除してカビができてにくい環境を整えましょう。



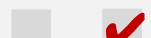
8. 浴室内でピンク色の汚れがあるとカビが発生しやすい

[解説]浴室に発生する「ピンク汚れ」の正体はカビの予備軍でなく「ロドトルラ」という赤色酵母で、カビの一種です。ロドトルラは、普通に空気中に浮遊している菌で水分のある場所を好むため、浴室はもちろんキッチンやトイレなどでも繁殖します。



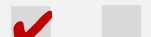
9. エアコンのカビ対策としてはフィルターを定期的に掃除すれば十分

[解説]冷房で使用した場合、フィルター掃除だけでなく送風機能を使ってエアコン内を乾燥させる必要があります。エアコン内の風通しをよくしてあげることでカビが増えるのを防ぐことができます。



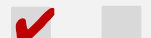
10. カビは氷点下では生きられないため、冷凍庫では発生しない

[解説]カビは凍っているところだと発生しません。しかし製氷機の給水タンクはきちんと定期的に掃除をしていないと空気中にあるゴミなどがたまりその中にカビが生息してしまいます。その水が氷となり知らずにカビを摂取し続けてしまうと健康被害にもつながりますので、定期的に給水タンクの掃除は行った方がいいでしょう。



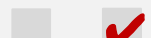
11. カビは人の皮膚でも生息している

[解説]人の顔の皮膚や頭皮には、毛根や皮脂腺に棲みつき、余分な皮脂を食べることで皮膚を酸性に保ち、細菌から皮膚を守ってくれる「マラセチア」という常在菌が生息しています。



12. カビは水分を好むがダニは水分を好まないためカビとダニは同時には発生しない

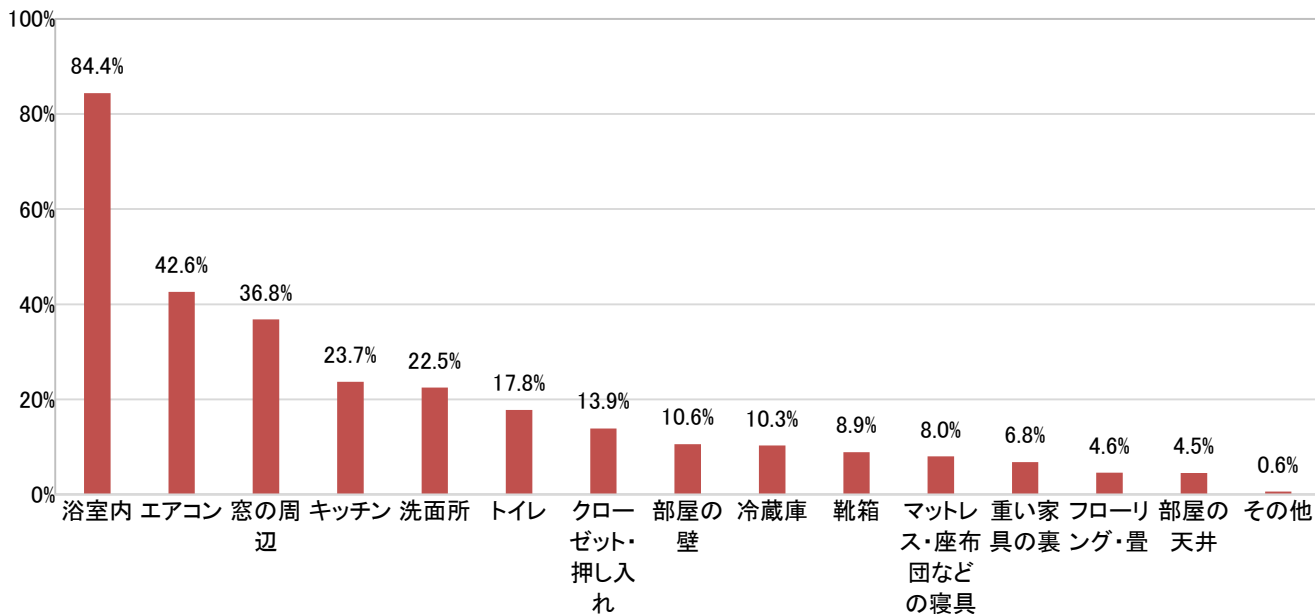
[解説]ダニはカビを餌とするのでカビ対策を行っていないとダニも増えてしまう原因となります。また、カビはダニの糞、死骸を餌とするため、カビが多いところにはダニも多く、ダニが多いところにはカビも多いということになります。掃除をする際にはカビもダニも両方退治することが大事です。



カビに悩む場所1位は「浴室内」 浴室のカビ掃除の頻度は、週に1回程度の人が最も多い結果に

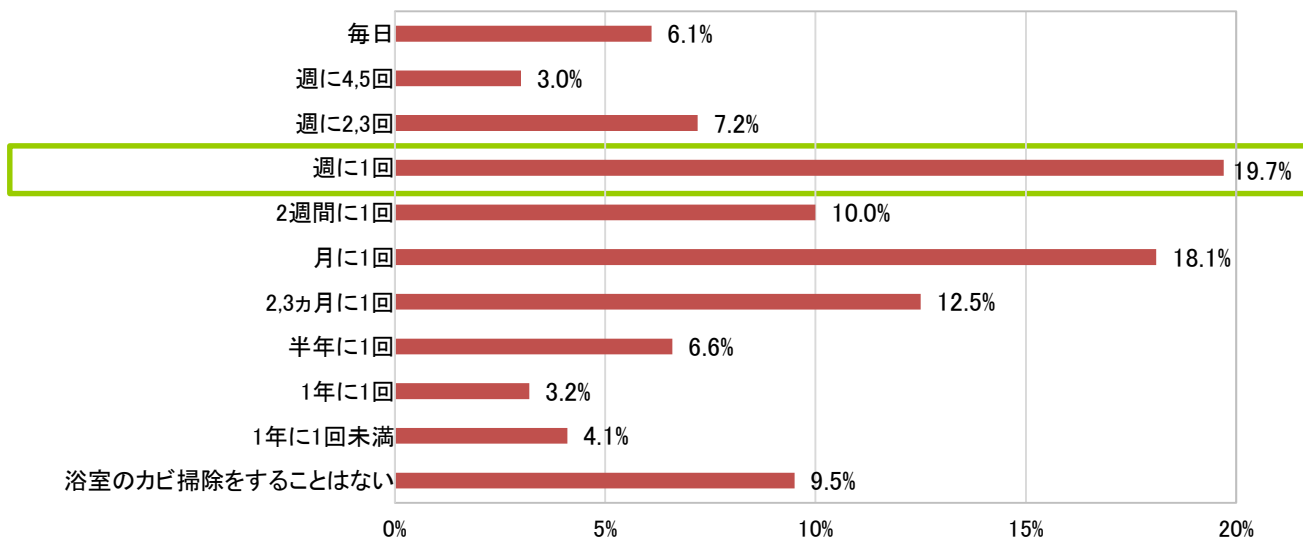
カビに悩んでいると答えた方に、日頃カビに悩んでいる場所について調査しました。その結果、カビに1番悩む場所は「浴室内」ということが分かりました。また、次いで「エアコン」「窓の周辺」という結果になりました。

Q7.あなたがカビに悩むのはどんな場所ですか？（複数回答 N=775）



また、浴室のカビ掃除の頻度を聞いたところ、「週に1回」以上掃除している人は約3割いることがわかりました。また、その次に「月に1回」、「2、3か月に1回」が多い結果となり、頻度は家庭によってバラつきがあるという結果になりました。

Q8.あなたは、浴室のカビ掃除をどのくらいの頻度でおこなっていますか？（単一回答 N=1,000）



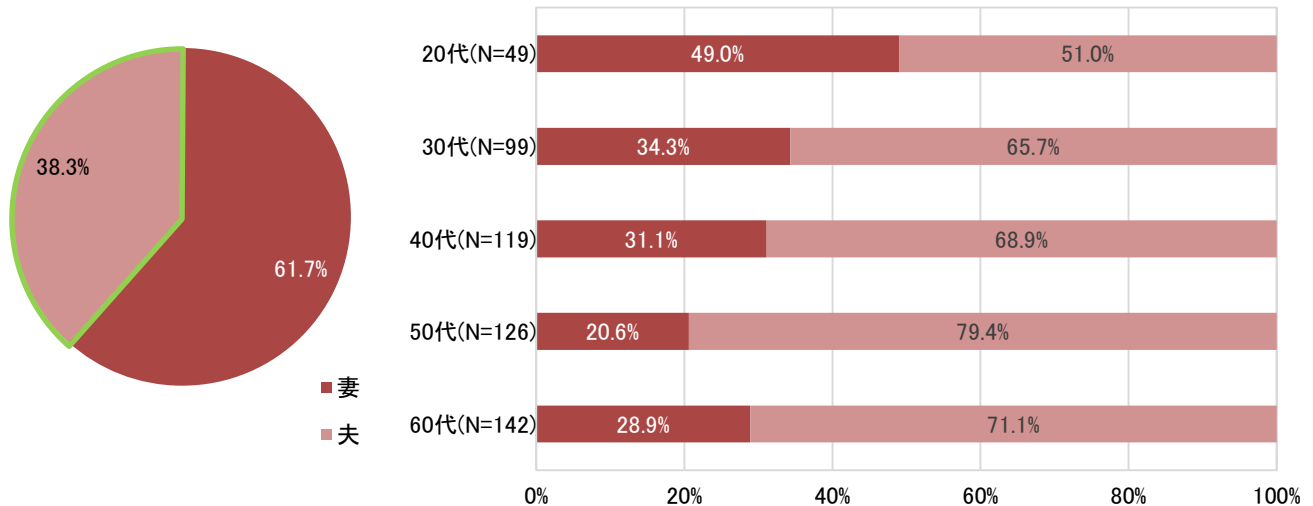
【矢口先生コメント】

週1回程度のカビ掃除が妥当だと思いますが、浴室の掃除回数を一概に推奨することはできません。その理由は、浴室の管理の仕方に左右されるからです。きちんとカビを除去し、入浴後、石鹸カスなどを洗い流し、しっかり乾燥するまで換気すれば、カビはそれほど生えることはありません（排水溝は除く）。少しでもカビが目についたら、カビ掃除するのが賢明です。

20代においては男性(夫)が日常的に浴室掃除を担当している家庭が約5割 カビが生える場所のイメージ 女性1位ゴムパッキン 男性1位目地という結果に

結婚されている方に家庭内で浴室の掃除を日常的に夫、妻どちらが担当しているかを聞きました。その結果、男性(夫)が掃除を担当している家庭は約3割という結果になり、男性が浴室掃除を担当している家庭も多いことが分かります。また年代別に見ると、男性(夫)が掃除をする割合は20代が約5割と最も高いことが判明しました。

Q9.あなたのご家庭では、日常的に浴室掃除をしているのは夫婦のどちらですか？(単一回答 N=535)



浴室の中のカビが生える場所についてのイメージについて調査しました。その結果、女性のイメージは「ゴムパッキン」、男性は「目地」が1位になりました。また、女性男性共に「壁」や「目地」がランクインしています。しかし、男性は「天井」に生えるイメージが第2位となっているところ、女性は「天井」がランクインしない結果となりました。一方で、男性は女性と違って「ゴムパッキン」がランクインしない結果となっています。

Q10.あなたは、浴室の中のどんなところにカビが生えそうだと感じますか？(複数回答 N=1,000)

<女性> (複数回答 N=500)

1位	ゴムパッキン	73.0%
2位	目地	70.0%
3位	壁	59.4%

<男性> (複数回答 N=500)

1位	目地	66.0%
2位	天井	55.0%
3位	壁	53.6%

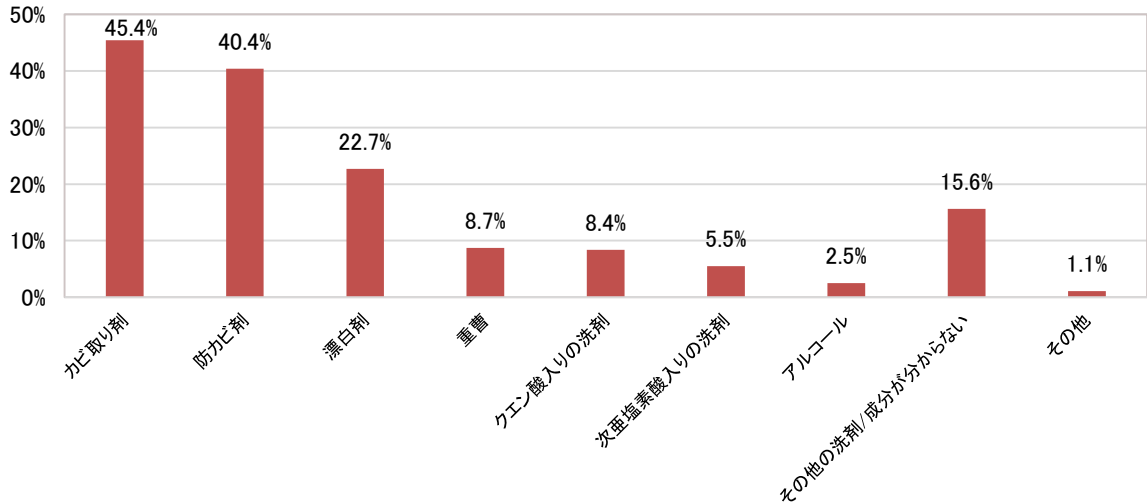
【矢口先生コメント】

ゴムパッキンは、汚れや水分が溜まりやすくカビが生えやすい場所です。男性が女性と違って「ゴムパッキン」がランクインしないのは、ピンク汚れをカビと認識していないからかもしれません。カビが生えたらカビ取り剤を使用し、決して固いブラシなどではこすらないようにしてください。パッキンを傷つけ、細かい傷には、カビが侵入しやすくなります。天井のシミの多くはカビです。このシミを取り除かないと、床や壁をいくらきれいに掃除しても、すぐにカビが生えてしまいます。モップにカビ取り剤をしみこませて拭き取り、水洗いをしましょう。煙タイプのカビ取り剤は便利ですが、カビは死んでもシミは残りますので、拭き取るようにしましょう。

浴室のカビ掃除で利用するもの第1位は「カビ取り剤」 浴室の換気扇は「入浴後の数時間だけ使う」人が最も多い結果に

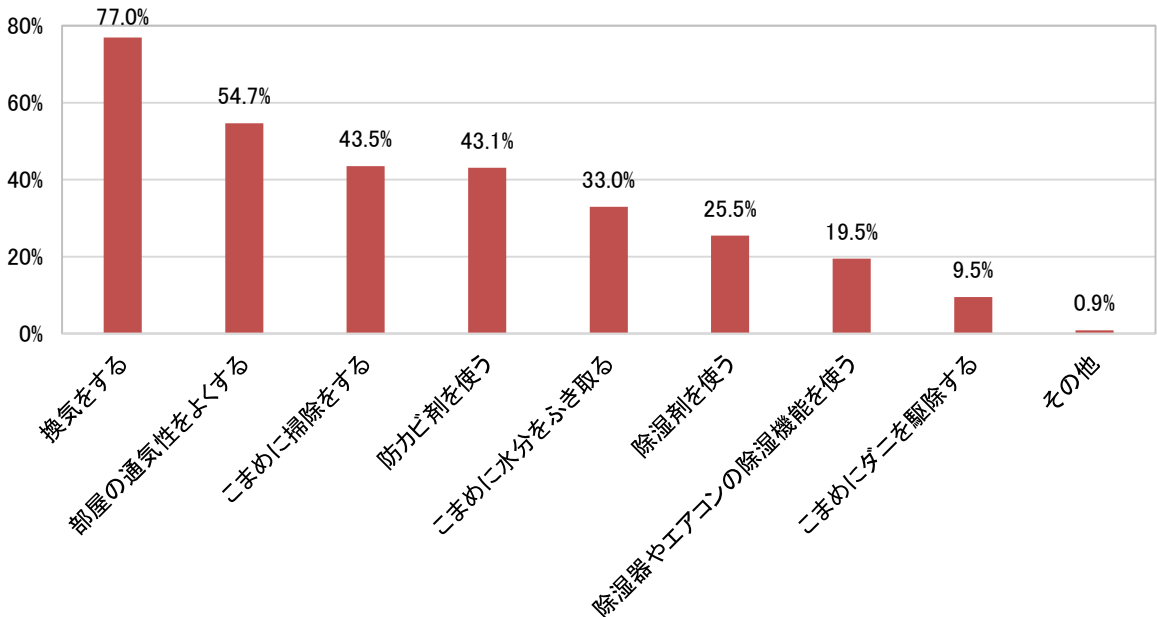
浴室のカビ掃除をすると答えた方に、カビ掃除の際に何を使用しているのか調査しました。その結果、カビ掃除に使用するもの1位「カビ取り剤」2位「防カビ剤」という結果になりました。次いで3位「漂白剤」を使う方も約2割という結果となりました。その他にも「重曹」や「クエン酸入りの洗剤」など身近にあるものを活用して掃除を工夫している方もいるようです。

Q11.あなたは、何を使って浴室のカビ掃除をしていますか？（複数回答 N=905）



出来てしまったカビの掃除を行っている方は多いと思いますが、カビの正しい予防法については知らない方も多くいます。そこで、カビ掃除だけでなくカビ予防として行っていることについて調査しました。その結果、最も多かった予防法は約8割の方が行っている「換気をする」となりました。次いで「部屋の通気性を良くする」という方が多い結果となっています。換気や通気など風通しを良くすることでカビ予防をしている方が多いようです。

Q12.あなたがカビの予防として行っているのはどんなことですか？（複数回答 N=1000）



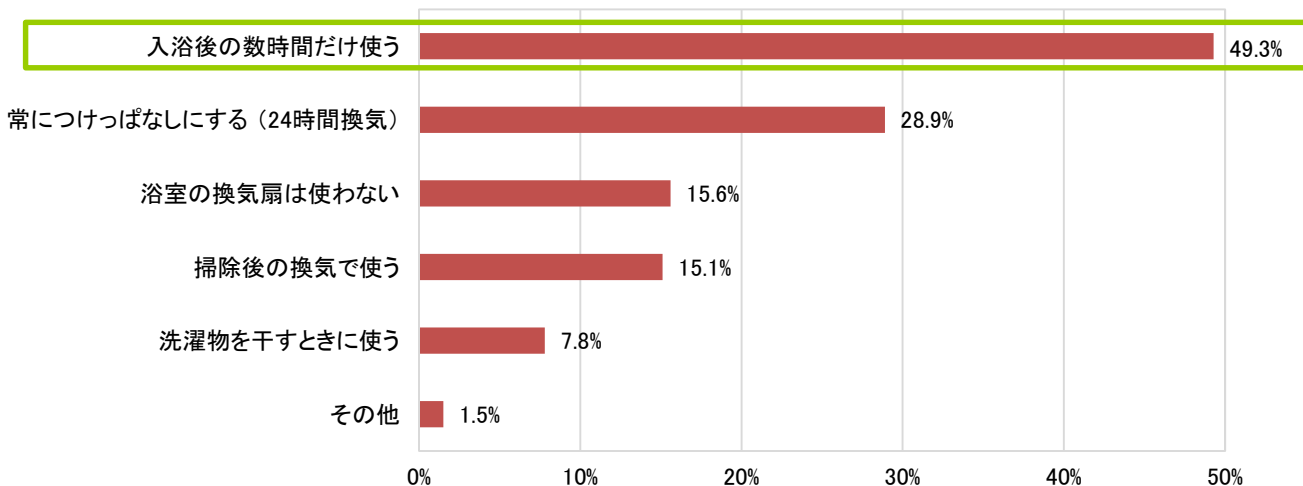
【矢口先生コメント】

多くの方がカビ取り剤(通常、次亜塩素酸が入っている)を使用しています。次亜塩素酸には、カビを殺菌する作用とカビを漂白する作用があります。一部の方は、重曹を使用していますが、発泡することで汚れは落とせても、カビを殺菌する効果はありませんのでカビ退治には不向きです。

浴室の換気扇は「入浴後の数時間だけ使う」人が最も多い結果に 暖房乾燥機を使うことでカビが防ぎやすいということを知らない人は約5割

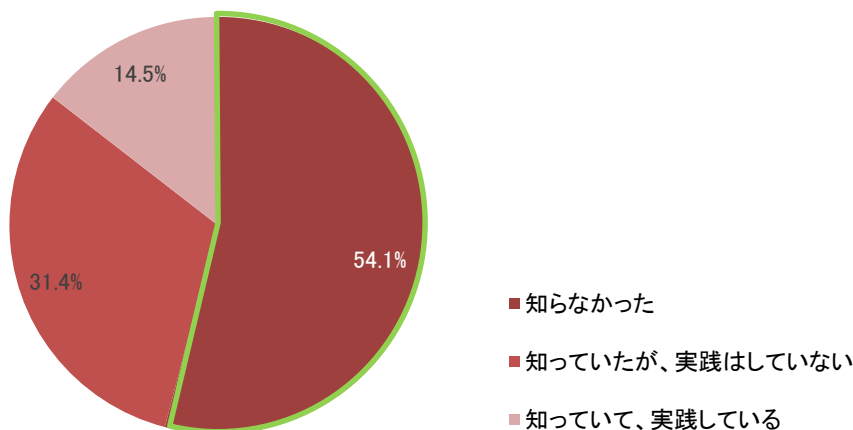
浴室の換気の頻度について聞いたところ、「入浴後の数時間だけ使う」という方が約5割と多いことが判明しました。次いで「常につけっぱなしにする(24時間換気)」という方が約3割となっています。

Q13.あなたは、浴室の換気扇をどのように使っていますか？（複数回答 N=1,000）



浴室暖房乾燥機を使用することで、浴室にカビが生えるのを抑制できるということを知っているか調査してみました。その結果、知らなかった方が過半数ということが判明。また、知っているものの、実践していない方も約3割いる結果になりました。

Q14.浴室暖房乾燥機を使用することで、浴室にカビが生えるのを抑制することができることを知っていましたか？また、実践していますか？（単一回答 N=1,000）



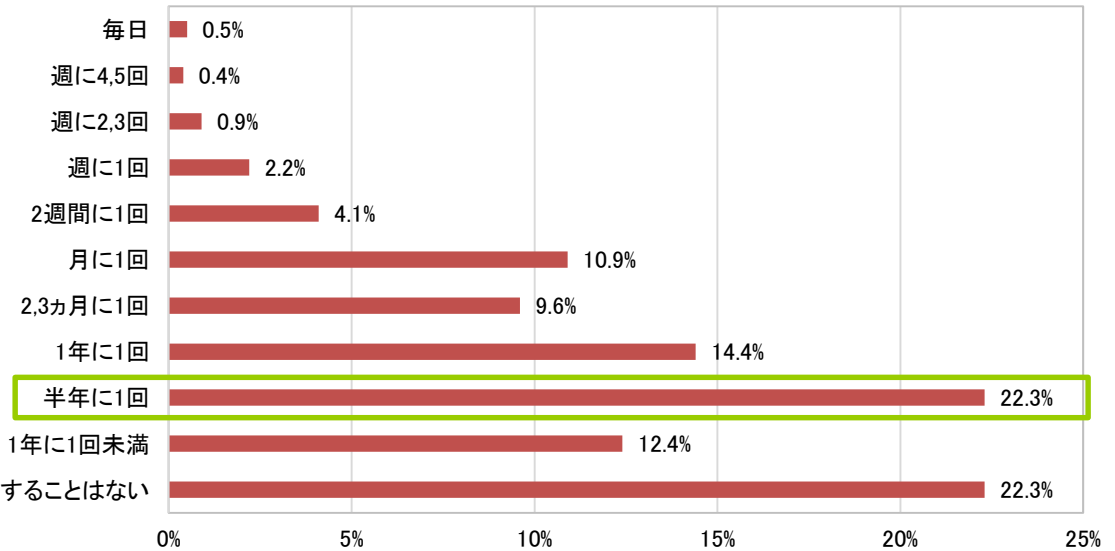
【矢口先生コメント】

24時間換気機能の付いている換気扇は、入浴後は強力に換気し、その後は常につけっぱなしにしておくのがいいです。排水溝に水が溜まっていたり、外部から湿気が入り込むことがあるからです。衣類の乾燥機能を使用すると、浴室内の気温は45℃程度になりますのでカビは非常に生えにくい状態になり、乾燥を止めた後も次の入浴時まではその効果は持続します。

エアコン掃除の頻度は半年に1回と答えた人が約2割ということが判明 エアコンを使って体調が悪くなった方は約4割という結果に

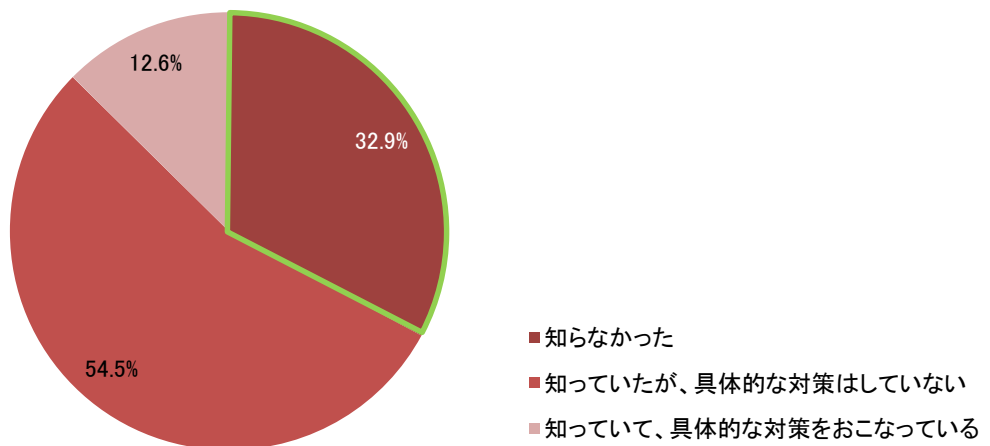
エアコンについても、多くの方がカビにも悩まされているという結果が出ましたが、エアコンの掃除の頻度について調査した結果、「半年に1回」が約2割と最も多い結果となりました。また、「エアコンの掃除をすることはない」と答えた方も約2割いるということも判明しました。

Q15.あなたは、エアコンの掃除をどのくらいの頻度でおこなっていますか？（単一回答 N=1,000）



エアコンのカビ対策を怠ると、アレルギーなどによる体調不良を起こす可能性があります。そのことについて知っているか調査した結果、知らなかった方が約3割いるということが判明。また、知っているが具体的な対策はしていない人も過半数となっています。エアコンのカビ掃除を正しく行うことでアレルギーや体調不良は改善される可能性があるため、定期的に掃除を行うことが重要です。

Q16.カビ対策をきちんと行わないと、アレルギーなどの体調不良を引き起こす可能性があります。あなたはこのことを知っていましたか？また、知っていて何らかの対策をしていますか？（単一回答 N=1000）



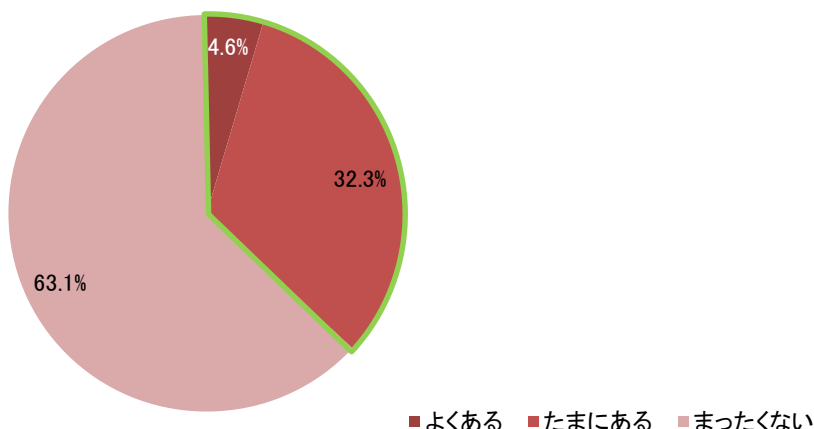
【矢口先生コメント】

生活環境中のカビを多く吸うと、アレルギーなどの健康被害を起こす可能性があることは、多くの方が認識されていますが、残念ながらその具体的な対策を実施されている方は少ないようです。部屋のホコリを取り除くとともにエアコンのフィルターにホコリが溜まらないように掃除をこまめに、できれば2週間に1度程度は行うようにしましょう。エアコンを冷房で使用すると、その内部は湿気てカビが生えやすくなります。冷房で使用後は、送風機能を使用してよく乾燥するようにしましょう。

湿気が多い時に顔のかゆみを感じたことがある人は約4割 枕カバーなどのリネン類の洗濯は週1の頻度の方が1番多いことが判明

湿気が多いと顔がべたつくことも多く、かゆみを感じる方も多いと思います。顔にもカビ菌は存在しているため、湿気が多い時に顔のかゆみを感じたことがある方がどれくらいいるのかを調査してみました。その結果、かゆみを感じる人が約4割いることが判明しました。

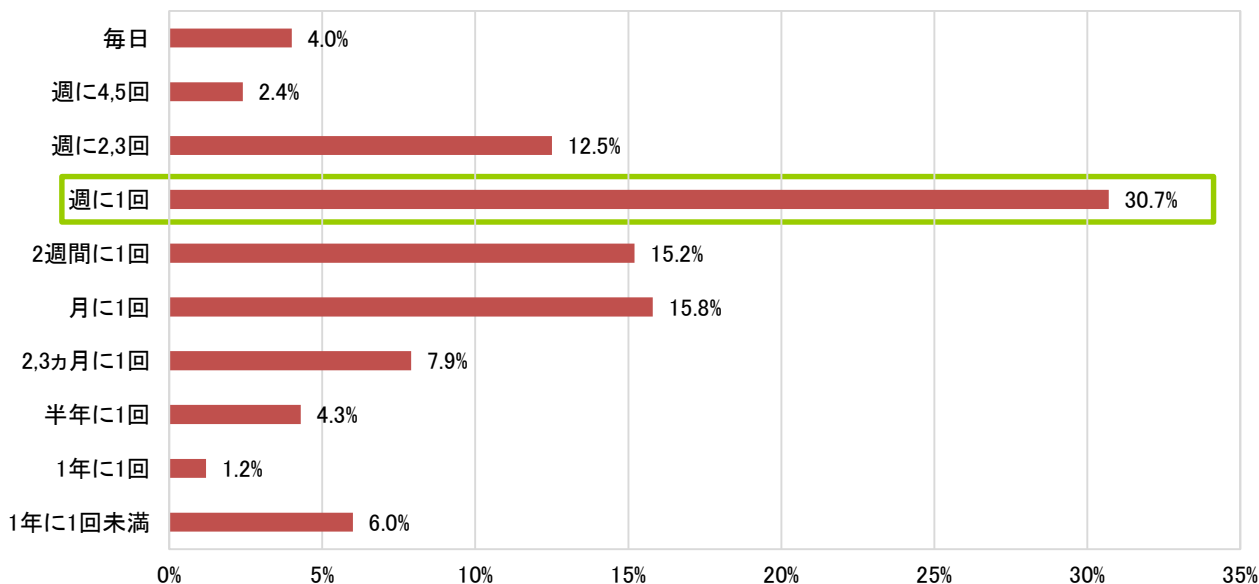
Q17.あなたは、湿気が多い時に顔のかゆみを感じることがありますか？（単一回答 N=1,000）



枕カバーなど顔に触れるものを清潔にしていないとカビや細菌が増え、炎症につながってしまう可能性があります。枕カバーの洗濯頻度を聞いたところ、「週に1回」という結果が約3割と最も多い結果となりました。次いで、「月に1回」「2週間に1回」という方が多く、枕カバーの洗濯頻度はかなり差がでる結果となっています。

Q18.あなたは、枕カバーをどのくらいの頻度で洗濯していますか？

※ご自身で洗濯をしていない場合も、使っている枕カバーがどのくらいの頻度で洗濯されているかをお答えください。（単一回答 N=1,000）



【矢口先生コメント】

人は寝ている間にコップ1杯の汗をかくとされています。中でも頭、顔、上半身は多くの汗をかきます。枕カバーなど顔に触れるものに、汗の油分、皮膚片、毛髪などの汚れが付着していると、「マラセチア」という油分を好むカビや細菌が増え、皮膚の炎症を起こすことがあります。汗を多くかく季節は、できれば毎日、枕カバーを取り換えるのがいいと思います。

梅雨時期にカビのストレスを抱える人も少なくないかもしれません。実際に、梅雨の時期にカビに悩まされる方が多くいることも判明しました。カビに対するストレスや悩みを少しでも解消し気持ち良く梅雨を過ごせるよう、カビ専門家・矢口先生に「梅雨時期に使えるカビ対策の3つのポイント」を教えてくださいました。

カビ専門家・矢口先生に聞く 梅雨時期のカビ 3つのポイント

1. 換気、除湿を心掛ける

梅雨時は湿度60%以上となりカビが非常に発生しやすくなります。そのため、湿気のコもりやすい場所は、扇風機、換気扇などを使用して空気の流れを起こすことにより換気を行い、エアコン、除湿器などを使用して、湿度を下げるようにしましょう。また、カビは定着する場所があるとそこで増殖します。そのため、風通しのいい場所は、生えにくいですが、浴室は湿気がこもりやすいので、特に注意が必要です。24時間換気機能の付いている換気扇は、入浴後は強力で換気し、その後は常につけっぱなしにしておくのがお勧めです。衣類の乾燥機能を使用すると、さらに効果的です。洗濯物を部屋干しする場合も、換気と除湿を十分、行いましょう。

2. こまめな掃除を行い、カビの栄養源を取り除く

生活環境中のカビを多く吸うと、アレルギーなどの健康被害を起こす可能性があります。こまめな掃除、特に部屋の隅、家具の裏、電気の傘などカビの栄養源となるホコリを取り除くとともに、エアコンのフィルターにホコリが溜まらないようにすることが大切です。

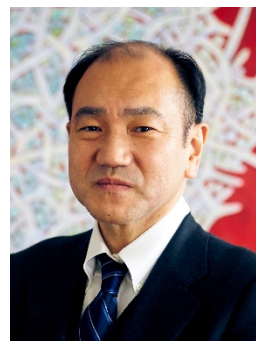
浴室は、カビの栄養源となる皮膚片、石鹸カスなどが発生しますので、入浴後は浴槽、壁、床などよく洗い流すようにしましょう。キッチンのシンクも同様です。意外に気づきにくいのはシャワータイプの水道の蛇口です。食器を洗う時の汚れが付き、カビが生えていることがあります。食器を洗う時に、蛇口の裏も同時に洗いましょう。

3. 梅雨入り前にエアコン、浴室などの水回りの掃除をきちんと行う

梅雨時期には、カビは繁殖しやすくなりますので、カビ取りを行うことが多くなってしまいます。そのため、梅雨前、比較的乾燥している5月にキッチンや浴室などの水回りをきちんと掃除しカビが生えにくい状態にしておくことが重要です。また、エアコンのフィルター、冷気の吹き出し口を掃除し、エアコン内部に溜まってしまったホコリを送風で噴き出すことでエアコンをクリーンな状態にし、梅雨時の除湿に活用しましょう。

カビ専門家 矢口貴志 先生

早稲田大学理工学研究科博士前期課程修了。明治製菓(株)を経て現在、千葉大学真菌医学研究センター准教授。生活環境のカビ、とくにヒトに病原性のあるカビを専門に研究している。身の回りのカビの危険性について、「世界一受けたい授業」、「林修の今でしょ講座」など多くのテレビ番組、雑誌などで解説している。



【調査概要】

調査時期 : 2020年4月11日～4月12日

調査方法 : インターネット調査

調査対象 : 20～60代男女 計1,000人

調査エリア : 全国47都道府県

※本リリースの調査結果・グラフをご利用いただく際は、必ず【リンナイ調べ】とご明記ください。

浴室暖房乾燥機

浴室を暖める浴室暖房乾燥機。冬場のヒートショック予防に有効であることで知られていますが、「乾燥」「換気」「涼風」機能を活用していただくことで、梅雨時や夏の時期も便利に使用していただけます。



■ 浴室を衣類乾燥室としても使えます

雨の日や夜など洗濯物が乾きにくい時でも浴室を衣類乾燥室として活用できます。急ぎの洗濯物をドライヤーで乾かす…なんてこともなくなります。また、部屋干し独特のイヤなニオイもなく花粉やホコリの付着の心配もありません。

衣類2kgなら約65分でしっかり乾燥！

[衣類2kgの目安]バスタオル2枚、タオル1枚、パンツ2枚、シャツ2枚、大人用パジャマ上下2セット、くつ下2足、スリッパ3枚、ショーツ1枚

パワーは電気式の2倍以上。
ちなみに所要時間は約1/3！

1.4kW
(1,200kcal/h)

【電気ヒーター式】

3.3kW
(2,840kcal/h)

※
【ガス温水式】

※外気温15℃、湿度60%、ユニットバス1坪タイプにての測定値です。電気式の乾燥能力は1.4kW(1,200kcal/h)衣類は脱水機付洗濯機で5分間脱水したものです。(脱水率約68%)

■ 浴室のカビや結露対策に浴室乾燥

カビが繁殖しやすい条件は温度20～30℃で、湿度70～95%、その他石けんカスや湯アカなどがある場所。つまり浴室はカビの絶好の住み家です。入浴後、乾燥運転で浴室の湿度を強制的に下げることによりカビ発生の予防ができます。

■ じめじめ一掃にスッキリ換気

気密性の高い住宅では自然換気が難しくなります。いつも新鮮な空気の中でご家族が暮らすために、24時間換気機能を標準搭載しています。

